

## ” 努力すれば報われるか ”

あるアンケートで「努力すれば報われる社会か」を尋ねたところ、肯定的な見方は15.2%で、28年前に行われた調査と比べて39ポイントも減少。努力とは「頑張る」とか「誠実に取り組む」、「真面目に働く」と言い換えられるだろう。

### 努力は報われる、かもしれない

努力は必ず報われる……。AKB48 高橋みなみさんが、総選挙で上位にランクインした際の言葉だ。

成功した人のほとんどは努力をしている。したがって「努力は必ず報われる」という言い方は成功した本人にとっては正しい。ただ、成功してるからそんなことを言えるんだ、という指摘は的を射ている。これを「生存バイアス（サバイバーバイアス）」という。「生き残った人」だけを見ていると極めて偏った結果になるということだ。世の中には努力が報われた人より努力が報われなかった人の方が（多分）たくさんいるので、高橋みなみさんの言葉は生存バイアスの観点で見れば間違っている。ただ、その一方で成功をしている人が皆努力をしているのなら、成功の条件として努力が必要である事は間違いない。

つまり努力は報われる、努力は報われない、はどちらも正しい。じゃあどうすれば良いんだ、成功したければ努力をするしかない、という答えしか出ない。結果的にそれが報われなくてもだ。

### 夢は手を伸ばした 1mm 先にある

AKB48 の秋元康氏は、「夢は手を伸ばした 1mm 先にある」とアドバイスをしているという。実際に指導・アドバイスをする立場になると言葉の意味が分かる。多分、採用された時点でその人はある程度センスに恵まれ、将来性も見込まれているはずだ。一方で大きな格差が生まれることもある。結果的にやる気を無くし努力をする気力を失う人もいる。せっかく採用した人が成功をつかむ寸前で脱落してしまう

様を見れば、なんとかならないものかと思うのも当然だ。そんな時に出てきた本音であると思う。

### やる気は後からついてくる

参加をしている人はそれなりにセンスがある人だけなのだが、指導についてこられずに辞めてしまう人も多い。せっかく手間を掛けて指導をしたのにコンチキショウと思う反面、もったいないとも思う。中途半端なところでやめてしまえば成果が出るはずもない。

### なぜ努力をする人としらない人の差は開くのか

言ったとおりにやれば必ずうまく行く、真面目に実行した人だけが成功する。したがって成功事例は一部の人に集中している。成功体験のある人は努力をしないともったいないとわかっているから、モチベーションが上がって努力を重ねてさらに成功する。成功体験のない人は努力の意味が分からずにモチベーションも出ず、何もしないから成果は出ない。すると努力をする人としらない人の差は絶望的なほど大きく開く。やる気のない人を相手にするくらいなら、やる気のある人にアドバイスをしたほうがよっぽど意味がある。努力が無駄になったらもったいないと考えている限り成果は出ない。チャンスが回ってきたらその時に頑張ります、という人は一生成功出来ない。チャンスは準備が出来ている人にだけまわって来るからだ。準備が出来ている人にだけ声がかかる。それが「あ、これが世の中の仕組みか……」と理解できた。つまり知らぬ間に人の仕事ぶりは思った以上に多くの人に見られていて、「努力なんて報われないよね」などと考えていると、気づかないうちに「コイツは使えない」とジャッジされている。

努力が報われるかどうかはその人のセンスや適性の有無も関わる。

### 努力の仕方を間違えるな

他と違う価値を提供できている人だけが生き残る。ほんの少しズレがあるだけでよそとの違いは生まれる。つまり努力の仕方、努力の場所を間違えるな、ということだ。努力が報われると思っている人がたった 15%ならば、努力の仕方や場所、方向性さえ間違えなければ僅かな差が大きな結果になって表れると考えていいのではないか。これも生存バイアスの一つかもしれないが、努力なしの成功はありえないことは既に述べた通りだ。参考にして欲しい。（抜粋 by 中嶋よしふみ氏）